

スクールトピックス

働くことの大変さ、尊さを知る 猪苗代中職場体験学習

町内の3中学校では、毎年町内の事業所で職場体験学習を行っています。総合的な学習の一環として、働くことの大変さ、尊さを知り、社会の一員となる自覚を深めることなどを目的に行われています。

猪苗代中学校の職場体験学習は9月10、11の両日、町内24の事業所で行われ、2年生87人がさまざまな仕事を体験しました。

町立猪苗代病院



町立猪苗代病院には3人の生徒が訪れ、医療現場におけるチームワークの大切さなどについて学びました。患者さんの体拭きも3人で協力して行いました。



(右から) 後藤夏奈さん、小
林萌々さん、古川陽向さん

大変だけど、やりがいのある仕事だと思いました。看護師になるという夢に向かって頑張ろうと、あらためて思いました。(後藤さん)

稲川酒造



稲川酒造を訪れたのは阿部未夢さん1人だけでしたが、「それでもここに来たかった」と阿部さん。「飲む人の顔を思い浮かべながら、心を込めて貼ってね」と指導を受けながら、日本酒のラベルを丁寧に貼りました。



阿部 未夢さん

父が杜氏をしていることもあり、学習先をここに決めました。体験してみて、将来はお酒づくりに関わっていききたいと思いました。

猪苗代消防署



消防署には7人の男子生徒が訪れ、放水訓練や救命講習などに真剣に取り組みました。「放水始め」などの声が小さいと、「もう1回」とやり直し。命がかかる現場でのコミュニケーションの大切さなどを学びました。



佐藤有佑真さん

消防士の人たちが頑張って、みんなの命を守ってくれていることがよくわかりました。消防士になりたいという気持ちがより強くなりました。

笑顔でこんにちは



大好きなパパとママの間でぎげんな煌太くん

いつも明るく、元気いっぱいの煌太くん。「きらめきのある存在になってほしい」。煌太くんの名前には、両親のそんな願いが込められています。

佐藤 煌太 くん

平成25年2月生まれ
～樋ノ口
翔太さん・莉奈さん夫婦の長男

好き嫌いなく離乳食を食べて、すくすく成長中の煌太くん。テレビで「おかあさんといっしょ」を見ながら踊ったり、自分で転がしたボールを追いかけてたりして遊ぶのが、最近のお気に入りです。覚えてたのずりばいよりも、支えて立たせてもらうのが大好き。「座っているとすぐにあきて、立たせてほしくて大声を出したり、服をつかんだりするんです」とママの莉奈さんは笑います。パパとのお風呂も大好きな時間。「目を開けられないほどバシバシヤとお湯をたたいては、声を上げて笑っています」と翔太さん。「毎日、面白いことがありすぎて、そういう意味でも煌太から目が離せません」と、パパとママは目を細めました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

スクールトピックス

佐藤未悠さんが県で4位に



東中学校の佐藤未悠さん(3年)が、このほど矢吹町で開かれた第62回県下中学校英語弁論大会の創作部門で、4位に入賞しました。佐藤さんは18日、須佐一夫校長、渡部真喜子教諭と共に町役場を訪れ、前後公町長に結果を報告しました。佐藤さんは「今後も英語を勉強して、将来に生かしていきたいです」と話しました。前後町長は「努力のたまものだと思います。前後町長は「努力のたまものだと思います。お世話になった人への感謝を忘れず、今後も頑張ってください」と活躍をたたえました。

一人でも多くの命を救うため



猪苗代養護学校は9月12日、第一生命保険にペットボトルキャップ約8500個を寄託しました。このキャップは、資源の再利用などを図るため、同校の生徒らが回収したものです。贈呈式は同日、同校で行われ、生徒会の永井一希会長、五十嵐光副会長と大庭靖史副会長が第一生命保険福島支社の大岡義一会津ブロック営業部長ら3人にキャップを手渡しました。キャップはポリオワクチンに換えられ、途上国の子どもたちに届けられます。